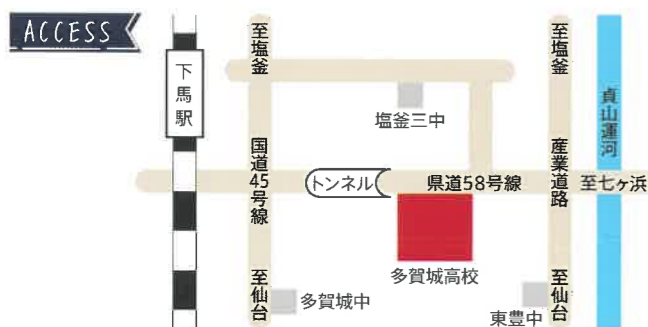


スクールポリシーについて

普通科	災害科学科
スクール・ミッション（社会的役割等）	
<p>本校は、「さとく、ゆたかに、たくましく」を教育目標とし、21世紀を担う人材の育成という観点に立ち、高い知性、豊かな情操、すぐれた徳性、強い意志と強健な身体をもち、広い視野をもって社会、国家に貢献できる人材を育成します。また、生徒に「命を守る」ための防災・減災についての学びと積極的な発信の機会を提供し、校内外の活動を通じて地域へ貢献する学校を目指します。</p>	
グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）	
<p>本校は教育目標として以下を掲げ、将来の社会の建設者としてふさわしい人間の育成を目指しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「知性の伸長（さとく）」 自己のもつ可能性を見いだしてその伸長と実現を図るとともに、真・善・美を追求し、常に広く調和のとれた教養を身に付けるよう努める。 ○「人格の尊重（ゆたかに）」 正しく自己を愛し、他をも愛する豊かな愛情を育て、社会に奉仕する精神を養い、互いに信頼しあえる誠実な人となるよう努める。 ○「心身の健康（たくましく）」 清潔で健康な生活を送ることを心がけるとともに進んで心身を鍛え、明るく清くどんな困難にあってもくじけない強固な意志と強靱な体力を身に付けるよう努める。この教育目標を踏まえ、身に付けてほしい資質・能力として以下の7項目を重点として掲げています。 <p>①問題発見・解決能力 ②聞く力・発表する力 ③知識・技能の習得 ④礼節と人間力 ⑤キャリア発達 ⑥防災・減災の担い手 ⑦積極性</p>	
カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）	
<ul style="list-style-type: none"> ○基礎学力を養成するとともに、本校独自の学校設定教科・科目により防災・減災についての学びを深めます。 ○教科・科目で学んだことを応用し、防災・減災を主なテーマとした課題の発見と解決について、探究的・協働的に学び、科学的リテラシーを育成します。 ○国内外の高校や地域との交流を通して、研究成果の発表や防災・減災についての発信を行い、表現力やコミュニケーション力を磨きます。 	
アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）	
<ul style="list-style-type: none"> ○挨拶や言葉遣い、身だしなみなどの基本的な生活習慣が身に付いている生徒 ○中学校での学習への取り組みが良好で、その成果が優秀である生徒 ○自己の進路実現のために学習に真剣に取り組む、継続的に努力できる生徒 ○部活動や特別活動、生徒会活動等でリーダーシップを発揮し、積極的に活動する意欲のある生徒 	

令和9年度入学選抜について

第一次募集	
普通科	災害科学科
<p>1 配点 (695点)</p> <p>(1) 調査書 (195点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語、数学、社会、英語、理科：全学年の評定を1.0倍 ・音楽、美術、保健体育、技術家庭：全学年の評定を2.0倍 <p>(2) 学力検査点 (500点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語、数学、社会、英語、理科：得点を1.0倍 <p>2 選抜方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する96人の150%の範囲に含まれる者を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。 <p>学力検査点 (500点満点) と調査書点 (195点満点) の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は6：4とする。</p>	<p>1 配点 (795点)</p> <p>(1) 調査書 (195点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語、数学、社会、英語、理科：全学年の評定を1.0倍 ・音楽、美術、保健体育、技術家庭：全学年の評定を2.0倍 <p>(2) 学力検査点 (600点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語、社会、英語：得点を1.0倍 ・数学、理科：得点を1.5倍 <p>2 選抜方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する16人の150%の範囲に含まれる者を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。 <p>学力検査点 (500点満点) と調査書点 (195点満点) の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は6：4とする。</p>
第二次募集	
<p>1 配点 (525点)</p> <p>(1) 調査書 (225点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語、数学、英語：全学年の評定を1.0倍 ・社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭：全学年の評定を2.0倍 <p>(2) 学力検査点 (300点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語、数学、英語 (各教科100点満点) <p>2 選抜方法</p> <p>上記1を基に、総合的に審査し、選抜する。</p>	<p>1 配点 (525点)</p> <p>(1) 調査書 (225点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語、数学、英語：全学年の評定を1.0倍 ・社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭：全学年の評定を2.0倍 <p>(2) 学力検査点 (300点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語、数学、英語 (各教科100点満点) <p>2 選抜方法</p> <p>上記1を基に、総合的に審査し、選抜する。</p>



SCHEDULE

オープンスクール 令和8年 7月24日(金)

多高祭(文化祭一般公開日) 令和8年 7月11日(土)

〒985-0831 宮城県多賀城市笠神 2-17-1
 TEL : 022-366-1225 FAX : 022-366-1226
<https://tagajo-hs.myswan.ed.jp/>

(多賀城高校HP)



TAGAJO HIGH SCHOOL 2026

宮城県多賀城高等学校 学校案内

スーパーサイエンスハイスクール指定校
ユネスコスクール加盟校



学校長挨拶



宮城県多賀城高等学校
校長 齋藤 英明

本校は、昭和51年に開校いたしました。校訓「さとく ゆたかに たくましく」のもと、スクールミッションに基づき、学びを通して社会に貢献できる人材の育成を目指して歩んでまいりました。普通科では、確かな学力と幅広い教養を基盤に、生徒一人一人が主体的に課題を見だし、他者と協働しながら解決を探る探究的な学びを推進しています。災害科学科では、自然災害を科学的に捉える視点を重視し、防災・減災、そして命を守る行動力を育成する学びを展開しています。地域や大学・研究機関と連携した実践的な探究活動を通して、学んだ成果を社会に発信する力を培っています。生徒たちは日々、学習に、部活動にそして地域活動に積極的に取り組んでいます。

令和5年よりSSH（スーパーサイエンスハイスクール）指定校の第2期目として、探究的・科学的な学びを一層深化させるとともに、ユネスコスクールとして、持続可能な社会の担い手を育てる教育にも力を注いでいます。皆さんが思いっきり高校生活を楽しめる学校です。加えて、今年度は、来たる創立50周年記念事業を控えており、これまでの50年間の歩みを大切にしながら、生徒・教職員が一丸となって学びの質をさらに高めたいと思います。

さとく

知性と思考力の獲得

ゆたかに

人格の尊重と人間力の育成

たくましく

心身の健康

多賀城高校での生活



生徒会長
吉田 陽葵
(塩竈第一中学校出身)

多賀城高校では、SSHの活動として防災・伝災に関するさまざまな取り組みが行われています。多高ならではの活動を通して、普段の授業だけでは得られない貴重な経験をたくさん積むことができます。

また、講義や学校主催の行事では、外部の講師の方や他県の高校生と関わる機会も多くあります。そうした交流を通して、新しいことを知ったり、自分の考え方を広げたりすることができます。

さらに、多高には春・夏・秋に行われる三大大行事があり、仲間と協力しながら楽しい思い出を作ることができます。勉強や部活動と行事のバランスもよく、充実した学校生活を送れることも魅力の一つです。

高校生活の3年間を、多賀城高校で新しい仲間や先輩とともに、素敵なものにしていきましょう！



普通科・元生徒会長
(令和8年3月卒業)
大嶋 心晴
(高崎中学校出身)

本校はSSH指定校、及びユネスコスクール加盟校です。そのため、他校にはないユニークで特徴的な教育活動がたくさん行われています。

具体的には、「くらしと安全」「情報と災害」といった独自の授業があり、学科を問わず全員が学びます。「家庭科」や「情報」の知識をさらに深掘りすることで、災害時に役立つ実践力と確かな知識が身につきます。また、全国の高校生と交流する機会も多く、コミュニケーションの場をとおして、「自己表現力」や「他者を尊重する心」を育むことができます。

生徒会活動も活発に行われており、こうした様々な経験を通じて、コミュニケーション能力や協調性を高め、自分自身を大きく成長させることができます。

皆さんも、ぜひこの特色ある多賀城高校で仲間とのかけがえない時間を過ごしてみてください！



災害科学科
(令和8年3月卒業)
森合 ことり
(西山中学校出身)

災害科学科は、東日本大震災の教訓を次世代へ確実に伝え、将来、国内外のさまざまな災害から「人の命とくらしを守る」ことのできる人材の育成を目指して設置されました。災害について専門的に学べる学科は全国でもわずか2校しかなく、この学校でしかできない貴重な学びや経験が数多くあります。地域巡検（まち歩き）や防災ワークショップなどを通じて、校外の多様な人と関わる機会も多く、教室の中だけでなくとどまらず、さまざまな場所をフィールドにして学びを深められるのがこの学科最大の魅力です。また、各自がテーマを決めて取り組む課題研究など、自分の興味・関心をとことん追求できる環境が整っており、防災・減災の専門分野はもちろん、文系・理系を問わず幅広い進路への可能性を広げることができます。


かけがえない仲間たちと共に、たくさんの出会いと、ここでしか得られない最高の経験が詰まった充実の3年間を災害科学科で過ごしてみませんか？

多賀城高校の特徴


SSH スーパーサイエンスハイスクール

Super Science High school

文部科学省では、国際的な科学技術人材を育成することを目指し、理数教育に重点を置いた研究開発を行う「スーパーサイエンスハイスクール (SSH) 事業」を実施しています。本校は平成30年度からの1期5年間を終えて、令和5年4月よりII期目の指定を受けました。II期は研究課題として『**様々な災害から派生する諸課題解決によるコンピテンシー伸長プログラムの開発**』を設定し、持続可能な社会をつくる実働型の科学技術人材の育成を目指しています。



▲1学年フィールドワーク

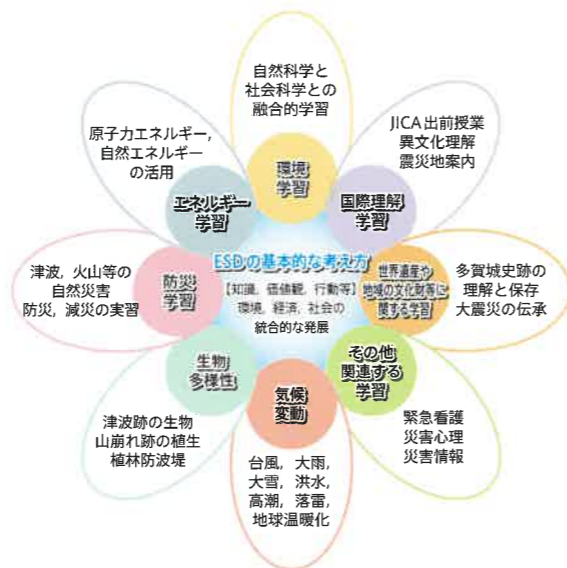


▲栗駒・気仙沼巡検

ユネスコスクール

Member of the Associated Schools Network

ユネスコが提唱するESD (持続可能な開発のための教育) の観点に基づき、人間を含めた命ある生物が遠い未来までその営みを続けていくための学習を教科横断的に行います。多賀城高校では**防災学習プログラム**、**自然科学学習プログラム**、**国際理解学習プログラム**をESDの柱と定め、持続可能な社会を担う人材を育成するための教育を授業、特別活動などあらゆる場面でを行います。



多賀城高校のESDと3つのプログラム

- 1 防災学習プログラム**
防災・減災の基本知識を身に付けつつ、自然環境と人間社会の有り様を考え、あらゆる災害に強い社会づくりを発信する。
- 2 自然科学学習プログラム**
実験や実習、フィールドワークをとおり、自然災害について科学的視野から調べ、自然科学の原理や自然環境の多様性について学ぶ。
- 3 国際理解学習プログラム**
世界の災害を調べたり、東日本大震災の被災と復興の様子を海外にも発信したりすることで、防災・減災についての情報や取組を海外とも共有する。

~防災・減災リーダーの育成~

災害科学科



被災地にある学校として、**防災・減災のリーダーとして国際的に活躍できる理系人材の育成**を目指しています。

現地での学びの機会を得るため、1年次、2年次に巡検や研修があります。その中で様々な団体との連携を通して最先端の科学に関する知見を深めることができます。また、国際的な視野を養うために、Zoom (ビデオ会議ツール) 等を活用して海外の学校との共同研究を行い、外国と防災・減災についての情報交換をしています。さらに、海外交流として来日した外国の方に被災地を案内することもあります。

POINT 1 現地でしか学べないこと SSH

災害科学科では、1年次に栗駒・気仙沼巡検、浦戸・大郷巡検、石巻・女川巡検を実施します。浦戸巡検では、海洋研究開発機構 (JAMSTEC) との連携により塩竈市浦戸諸島において野外実習を行い、実験の手法について学びます。2年次には日本を代表する研究機関で研修を行う「つくば研修」を実施します。防災科学技術研究所 (NIED) や産業技術総合研究所 (AIST) 等で最先端の科学に関する知見を深めます。

【これらの活動は、スーパーサイエンスハイスクール (SSH) の支援を活用して行われます。】



被災地にある学校として、**防災・減災のリーダーとして国際的に活躍できる理系人材の育成**を目指しています。

POINT 2 国際的な視野 UNESCO

さらなる高度な学問を体系的に学び、地球規模の課題に対して先駆的な立場で国際的に活躍できる人材を育成します。自ら国際的問題点を抽出し、それに対する自分なりの解決策を考え、発表する活動などを通して、国際化が進む社会で生き抜くための力を身に付けます。また、Zoom (ビデオ会議ツール) を活用した、台湾・インドネシアとの交流など、海外に目を向け、視点を広げると共に、防災や減災についての情報を世界に向けて発信しています。



POINT 3 命と暮らしをまもる



2011年3月11日に発生した東日本大震災。その被災地にある学校として、防災・減災の観点から今後の社会を力強く生き抜く力を育み、今後の復興の担い手を育成します。普通科の学習内容を発展させ、防災や減災、環境の切り口なども加えて学習します。専門科目では、過去の災害や環境から見られる諸問題を学習題材にするなど、自然科学的なアプローチや人間社会学的視点を養う学習まで幅広い内容を扱います。普通科での学習内容を組み替え、多岐にわたる内容も扱うため、より深い学びに繋がります。

令和9年度入学生教育課程

普通科
定員240名
6クラス

普通科では、1年次に共通教科・科目を学習し、2年次より上級学校への進学を念頭に理系または文系に分かれて学習をします。少人数制での授業展開も実施され、きめ細やかな授業が行われています。

普通科で学ぶ教科・科目(青色は学校設定科目)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
1年	現代の国語	言語文化	歴史総合	地理総合	数学I	数学A	物理基礎	生物基礎	体育	音楽I	英語コミュニケーションI	論理・表現I	くらしと安全A	情報と災害	SS課題研究	LHR																		
2年	文	論理国語	古典探究	地理探究 日本史探究 世界史探究	公共	数学II	数学B	地学基礎	体育	英語コミュニケーションII	論理・表現II	くらしと安全A	情報と災害	SS※1課題研究	LHR																			
	理	論理国語	古典探究	公共	数学II	数学B	化学基礎	SS化学	SS物理	SS生物	体育	英語コミュニケーションII	論理・表現II	くらしと安全A	情報と災害	SS※1課題研究	LHR																	
3年	文	論理国語	古典探究	地理探究 日本史探究 世界史探究	政治・経済	体育	英語コミュニケーションIII	論理・表現III	数学II	数学C	論理・表現III	アプローチ 手生物	アプローチ 手地学	SS課題研究	LHR																			
	理	論理国語	古典探究	地理探究 政治・経済	時事問題 実践	数学III	SS数学	数学C	SS化学	SS物理	SS生物	体育	英語コミュニケーションIII	論理・表現III	SS課題研究	LHR																		

※1 2年次のSS課題研究の1単位分は特別時間割により編成される(長期休業中など)
※通年で学校設定科目「ボランティア」1単位を設置(規定時間を超え認定された者のみ)

災害科学科
定員40名
1クラス

災害科学科では、普通科の学習内容を防災や減災、環境の切り口も加えて学習します。専門科目では、過去の災害や環境から見られる諸問題を学習題材にするなど、自然科学的なアプローチや人間社会学的視点を養う学習まで幅広い内容を扱います。

災害科学科で学ぶ教科・科目(黄色は学校設定科目)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
1年	現代の国語	言語文化	社会と災害	数学I	数学A	実用統計学	自然科学と災害A	自然科学と災害B	体育	英語コミュニケーションI	論理・表現I	くらしと安全A	情報と災害	SS災害科学研究	LHR																			
2年	論理国語	古典探究	公共	数学II	数学B	自然科学と災害B	化学	物理	体育	美術I	英語コミュニケーションII	科学英語	くらしと安全A	情報と災害	SS※2災害科学研究	LHR																		
	論理国語	古典探究	歴史総合	国際社会と政治・経済	数学II	数学C	化学	物理	科学技術と災害	生物	生命環境学	英語コミュニケーションIII	くらしと安全B	SS災害科学研究	LHR																			

※2 2年次のSS災害科学研究の1単位分は特別時間割により編成される(長期休業中など)
※通年で学校設定科目「ボランティア」1単位を設置(規定時間を超え認定された者のみ)



多賀城高校での学び

SS 課題研究・SS 災害科学研究 (普通科) (災害科学科)

1 学年

フィールドワークや巡検、それらの事前学習を通して、情報収集・活用能力、調整力、課題発見力、協働力の獲得を目指します。



2 学年

1学年で身に付けた各能力を生かして、班別の研究を行います。普通科・災害科学科問わず、外部で行われている研究発表会にも積極的に参加しています。



3 学年

これまでの研究の成果を論文にまとめます。



学校設定科目 (普通科) (災害科学科)

多賀城高校では、「くらしと安全A」「情報と災害」などの本校独自の科目を普通科にも設定しています。これらの科目では、防災や減災、あるいはESD(持続可能な開発のための教育)の視点を積極的に取り入れ、被災地にある学校として、今後の未来を創る人材を育成すべく、新たな視点での学習が行われています。より高度で専門的な学習を行うために、専門的知見に富む専門家を招いての特別授業も積極的に行っています。

地域連携 (災害科学科)

「くらしと安全A・B」の科目の中では、防災教育の一環として、地域資源を活用し、海上保安庁の指導のもとに行われる水難救助の特別授業を実施しています。また、多賀城市やJR東日本などの地元企業とも連携し、防災に関する課題研究を行っています。

専門機関との連携 (災害科学科)

防災科学技術研究所(NIED)や産業技術総合研究所(AIST)、土木研究所などの専門機関と連携した学習を実施しています。様々な大学や石巻赤十字病院より講師を招いての授業を行うなど、より専門的な学習の機会も多く設定されています。

学校設定科目のイメージ



多賀城高生の1日



JRを利用して塩釜駅・下馬駅から徒歩や自転車で通学する生徒が多います



8:20 生徒登校
8:30 ~朝のSHR



8:45 ~授業 (50分)
午前中は1校時から4校時まで



お弁当や軽食を買うことができます



12:35 ~昼休み



13:20 ~午後の授業
6校時までの日と
7校時までの日があります



皆で協力して清掃を行います



16:10 7校時終了
全員清掃・帰りのSHR



放課後は部活動



さまざまな場所で部活動が盛んに行われています



18:45 生徒完全下校

多賀城高校の1年

4月

入学式
新入生オリエンテーション



5月

前期生徒総会
体育祭



6月

高校総体
第1回定期考査



7月

多高祭



8月



9月

第2回定期考査
球技大会



10月

11月

第3回定期考査
後期生徒総会



12月

修学旅行

※「関西方面」「台湾方面」から選択します。

1月

3.11メモリアル Re-Dit ミーティング



2月

第4回定期考査

3月

卒業式



多賀城高校の部活動

多賀城高校には多様な部活動があります。運動部、文化部ともに計画的かつ主体的に活動しています。部活動に参加することによって、技術の向上だけでなく心身の鍛錬とともに、同じ目標に向かう生徒間で強い絆を築き、人間的にも大きく成長することができます。

部によっては、運動部文化部ともに、県内各種大会やコンクールで好成績を収めるだけでなく、上位大会（東北大会や全国大会）へ出場している生徒もいます。



運動部 硬式野球 / サッカー / 陸上競技 / ラグビー / ソフトボール / 弓道 / 剣道 / 柔道 / 水泳 / 山岳 / 硬式テニス / ソフトテニス / 卓球 / バレーボール / バスケットボール / バドミントン

文化部 吹奏楽 / 情報処理 / 語学研究 / 合唱 / 茶華道 / 家庭 / 軽音楽 / 美術 / 写真 / SS科学

【主な大会の成績(令和7年度)】

吹奏楽部	全日本吹奏楽コンクール 東北大会 金賞 / 全日本マーチングコンテスト 全国大会 銅賞 / 全日本アンサンブルコンテスト 宮城県大会 フルーツ8重奏 金賞・サクソフォーン8重奏 金賞
軽音楽部	宮城県高等学校対抗バンド合戦 新人大会 グランプリ / 宮城県高等学校対抗バンド合戦 1年生大会 奨励賞
写真部	第32回宮城県高等学校写真展 入選 / 第62回観光のしおがま写真コンクール 入選
SS科学部	第78回宮城県高等学校生徒理科研究発表会 優秀賞 / 学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ 2025 日本化学会東北支部長賞 (他) 第15回高校生バイオサミット in 鶴岡 決勝戦発表会出場
合唱部	NHK全国学校音楽コンクール宮城県コンクール奨励賞 / 全日本合唱コンクール 宮城県大会 銀賞
美術部	河北美術展 JAL賞 / 高校生絵画展 in 登米市 2025 優秀賞・登米市文化協会理事長賞・登米市教育委員会教育長賞
サッカー部	県総体 ベスト8 / 県新人 ベスト16 / 全日本選手権宮城大会 ベスト8
剣道部	県総体 女子個人ベスト16 / 県新人 女子個人ベスト16
テニス部	県総体 男子団体 ベスト16
水泳部	県総体 男子個人 1500m自由形・400m個人メドレー (東北大会出場) / 女子個人 200m自由形・400m個人メドレー (東北大会出場)
柔道部	県総体 男子団体 ベスト8・男子個人 第3位 東北大会出場 / 県新人 女子団体 第3位 / 全日本選手権宮城大会 女子団体 第3位 (東北大会出場)
バドミントン部	県総体 男子学校対抗戦 ベスト8 / 県新人 男子学校対抗戦 ベスト16
弓道部	高総体 男子個人 全国大会出場 / 県総体 女子団体 東北大会出場 男子個人第2位 / 全国高等学校弓道選抜大会 男子個人 出場 / 県新人 男子個人 第5位 東北大会出場

進路実績

合格者のべ数
過卒生含む

全体の約9割が大学進学を目指していますが、様々な進路希望に対応できるように、二者面談などで進路相談に応じています。大学入試を中心とした自己の進路実現に向けて頑張る生徒を支援します。



学校	年度	R7	R6	R5	R4	R3
東北大学		1		1	1	
宮城教育大学		4	4	8	4	6
宮城大学		6	18	10	7	10
北海道大学				1		
北海道教育大学		3	1			
旭川市立大学			1	1		
釧路公立大学		1	1	1		
公立ほこだて未来大学						1
弘前大学		1	3	1	2	
青森公立大学			1		1	1
岩手大学		3	3	2	5	9
岩手県立大学		2	1	2	2	2
秋田大学		3	3	2	3	
秋田県立大学					1	
山形大学		29	19	29	20	23
福島大学		6	11	6	3	4
会津大学				2		
茨城大学		1				
宇都宮大		2	1		1	2
筑波大学			1			
埼玉大学			2			
千葉大学				1	1	
高崎経済大学				2	1	
東京外国語大学						1
東京学芸大学		1				
一橋大学		1				
都留文科大学		1		1	1	1
新潟大学				3		2
富山大学						1
金沢大学		1				
神戸市立外国語大学		1				
北九州市立大学					1	
琉球大学					1	1
名城大学					1	
国公立大学 合計		67	70	73	56	64
防衛大学校				1		
防衛医科大学校						1
東北職業能力開発大学校		1				
宮城県農業大学校				1		
大学校 合計		1	0	2	0	1
石巻専修大学		5	8	6	7	6
仙台大学		6	3		2	5
東北学院大学		127	152	150	154	148
東北工業大学		59	32	55	15	20
東北生活文化大学		2		2	2	1
東北福祉大学		61	48	45	55	94
東北医科薬科大学		7	7	5	8	7
宮城学院女子大学		16	16	16	24	44
仙台白百合女子大学		3	1	1	1	1
東北文化学園大学		9	5	6	8	11
尚絅学院大学		6	10	7	5	12
仙台青葉学院大学		5	10	8		

学校	年度	R7	R6	R5	R4	R3
酪農学園大学				2		2
岩手医科大学		1	1			
盛岡大学				1		2
東北芸術工科大学		4	3	4	3	4
東北公益文科大学		3	1			
医療創生大学			1		1	2
国際医療福祉大学		2	5	2		
日本医療科学大学			4	1	1	
千葉工業大学		4	1	1		
青山学院大学					1	
桜美林大学					1	2
神田外国語大学			2			1
北里大学		1	1			
工学院大学		2		1		
駒沢大学			2	2		2
順天堂大学		2				
成蹊大学						1
成城大学					1	1
専修大学		2	2	4		1
大正大学			1			3
多摩大学						4
帝京大学			1	1	1	1
東海大学		2	5	1	3	1
東京農業大学		4	1	2	1	1
東洋大学		5	1			2
日本大学		1	4	2	4	5
文教大学			2		1	
法政大学			1			3
武蔵野大学						3
明治大学			1		1	
明星大学				2	2	
立教大学		1	1		2	
早稲田大学						1
神奈川大学		1	2	1		
関東学院大学			2		1	
立命館大学						2
龍谷大学						3
関西大学		1	1	2	1	2
関西外国語大学		6				
仙台青葉学院短期大学		9	3	6	10	11
山形県立米沢女子短期大学		1	2			
聖和学園短期大学					6	
仙台赤門短期大学				1	1	1
会津大学短期大学部			1			1
仙台医療センター付属看護助産学校		5	8	4	4	1
仙台湾州看護専門学校			1	1	2	2
東北労災看護専門学校		2	3	2	3	1
仙台市医師会看護専門学校		1	2		6	
石巻赤十字看護専門学校		1	1	2	1	2
葵会仙台看護専門学校		3	2		1	1
公務員		7	19	12	16	13
民間就職			1	2	1	1